

タイトル(書名)	<p style="text-align: right;">聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : エフライムの山]</p> <p>章:節 聖句 [検索対象総数 : 19 / 聖句等の総数 33250 (エフライムの山)19個]</p>
K ヨシュア記	17:15 ヨシュアは答えた。「あなたの民の数が多くて、エフライムの山地が手狭なら、森林地帯に入って行き、ペリジ人やファイム人の地域を開拓するがよい。」
K ヨシュア記	21:21 与えられたのは、エフライムの山地にある殺害者の逃れの町シケムのほか、ゲゼル、
K ヨシュア記	24:30 エフライムの山地にある彼の嗣業の土地ティムナト・セラに葬られた。それはガアシユ山の北にある。
K 士師記	2:9 エフライムの山地にある彼の嗣業の土地ティムナト・ヘレスに葬られた。それはガアシユ山の北にある。
K 士師記	3:27 到着すると、彼はエフライムの山地に角笛を吹き鳴らした。イスラエルの人々は彼と一緒に、彼を先頭に山を下った。
K 士師記	10:1 アビメレクの後、ドドの孫でプアの子であるイサカル人トラが、イスラエルを救うために立ち上がった。彼はエフライムの山地のシャミルに住み、
K 士師記	17:1 エフライムの山地に名をミカという男がいて、
K 士師記	17:8 適当な寄留地を求めて、その人はユダのベツレヘムの町を離れ、旅を続けてエフライムの山地にあるミカの家まで来た。
K 士師記	18:2 ダンの人々は土地を探り、調べるために、自分たちの氏族の者でツオルアとエシュタオル出身の勇士五人を自分のところから遣わして言った。「行って、土地を調べよ。」彼らはエフライムの山地のミカの家まで来て、そこで一夜を過ごした。
K 士師記	18:13 彼らはそこからエフライムの山地を進み、ミカの家まで来た。
K 士師記	19:1 イスラエルに王がいなかったそのころ、エフライムの山地の奥に一人のレビ人が滞在していた。彼はユダのベツレヘムから一人の女を側女として迎え入れた。
K サムエル記上	1:1 エフライムの山地ラマタイム・ツォフィムに一人の男がいた。名をエルカナといい、その家系をさかのぼると、エロハム、エリフ、トフ、エフライム人のツフに至る。
K サムエル記上	9:4 彼はエフライムの山地を越え、シャリシャの地を過ぎて行ったが、ろばを見つけ出せず、シャアリムの地を越えてもそこにはおらず、ベニヤミンの地を越えても見つけ出せなかった。
K サムエル記上	14:22 また、エフライムの山地に身を隠していたイスラエルの兵士も皆、ペリシテ軍が逃げ始めたと聞くと、戦いに加わり、ペリシテ軍を追った。
K 列王記下	5:22 彼は答えた。「何でもありません。わたしの主人がわたしを遣わしてこう言いました。『今し方預言者の仲間の若い者が二人エフライムの山地から着いた。彼らに銀一キカルと着替えの服二着を与えてほしい。』」
K 歴代誌下	15:8 アサはこの言葉と預言者オデドの預言を聞いて、勇気を得、ユダとベニヤミンの全土から、またエフライムの山地で攻め取った町々から、忌むべき偶像を除き去り、主の前廊の前にある主の祭壇を新しくした。
K 歴代誌下	19:4 ヨシャファトはエルサレムに住んでいたが、再び出かけて民の中をベエル・シェバからエフライムの山地まで巡り、彼らを先祖の神、主に立ち帰らせた。
K エレミヤ書	4:15 聞け、災いをダンから告げ／エフライムの山から知らせる声を。
K エレミヤ書	31:6 見張りの者がエフライムの山に立ち／呼ばれる日が来る。「立て、我らはシオンへ上ろう／我らの神、主のもとへ上ろう。」